

参加者募集

第24回

Let's clean the coast!

海岸クリーンアップ。

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施し、今年で24回目になります。

1 9月5日(土) 9:00~10:00
鷹巣海水浴場

2 9月12日(土) 9:00~10:00
三国サンセットビーチ

持ち物

ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先(電話番号)をお知らせください。

※行事保険に(事務局負担で)加入します。



お申し込み・お問い合わせは
福井県生協連合会まで

主催/福井県生活協同組合連合会

協賛/福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2020年8月00日 No.128

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

県連総会

6月4日(木) General meeting



福井県教育センター4階大ホールにおいて第45回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止と安全確保に万全を期し、開催規模を縮小し運営を簡略化しての開催となりました。紙屋敏夫副会長理事の開会宣言の後、福井県民生協の高井健史代議員が議長として選任され、続いて理事会を代表して竹生正人会長理事が挨拶し、右の全議案が可決承認されました。

可決決定された議案

- 第1号議案 2019年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 2020年度活動方針及び収支予算決定の件
- 第3号議案 役員(理事2名 監事1名)補充選任の件
- 第4号議案 役員選任規約の一部変更の件



なお、福井県生協連合会の理事として4年間お骨折りをいただきました小林厚氏および磯崎修治氏が退任されました。これまでのご尽力に心から感謝を申し上げます。

新たに理事として2名、監事として1名が選任されました。

2020年度 新役員紹介 (敬称略)

- 理事 嶋崎 邦彦 (福井県労働者共済生活協同組合)
- 理事 堀内 紀宏 (福井大学生生活協同組合)
- 監事 須沢 綾子 (福井大学生生活協同組合)

引き続きくらしを守る視点を大切に、また、会員生協のさまざまな取り組みの紹介を積極的に発信していきます。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。

2020年

会員生協総（代）会議案書

第43回通常総代会と2019年度活動の報告

2020年6月21日（日）
福井県自治会館
多目的ホール

福井県
医療生協

第43回通常総代会を開催しました

福井県医療生協の第43期通常総代会が、6月21日に福井県自治会館多目的ホールにおいて開催。「2019年度活動のまとめと事業報告及び決算・2020年の運動方針」をはじめとする議案の提案があり質疑・討議を経て全議案を採択しました。総代会では、大門理事長のあいさつに続き、田中専務より、昨年一年間の健康づくり、まちづくり、組織づくりの振り返りと事業所の経営到達の報告、2020年度の活動方針と事業計画および予算、役員補充等の提案がされました。続いて大久保裕介監事より監査報告があり、会場より加藤総代、五十嵐総代、宮川総代からの質疑を受けました。

全議案の採決後の第1回理事会にて大門理事長、天谷副理事長の退任を承認。新理事長に天津亨（医師）を選出しました。就任した天津理事長は「組合員のみならずと事業所職員の力を合わせて医療生協運動を進めていきたい」と抱負を述べました。退任した大門理事長、天谷副理事長に感謝状と花束を贈呈し、大門前理事長が代表して退任のあいさつをしました。本年度の総代会は、コロナ禍での開催で規模や時間を短縮して行いました。



あいさつする大門理事長

第63回通常総代会

2020年6月20日（土）
（一財）福井県教育センター
4階 大ホール

福井県
学校生協

第63回通常総代会を開催しました

令和2年6月20日（土）、福井県教育センター 4階大ホールにて、第63回通常総代会が開催されました。今回はコロナウイルス感染拡大防止を考慮した中での開催となりました。次の5つの議案が承認されました。



- 第1号議案 令和元年度事業報告及び決算関係書類承認の件
- 第2号議案 役員選任の件
- 第3号議案 令和2年度事業計画及び予算決定の件
- 第4号議案 役員選任規約の一部変更の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件

令和2年度の主な事業計画

- コンプライアンスに則った学生協の運営・組合員の拡大・組織の活性化を図ります。
- 経営組織に貢献できる人材の育成を図り、供給事業の再構築により供給事業の減少に歯止めをかけ、事業剰余金での黒字を目指します。
- 自主供給（共同購入、通信）の利用拡大を図ります。
- 指定店、協力店、提携店と連携し供給事業の強化を図ります。
- 手数料事業の拡大と事業剰余金確保のため、経費の削減に取り組めます。
- 全国学校生協の仲間と協同と連帯を推進し、教職員を取り巻く関連団体との提携を進め、各地の被災地の復興に貢献します。

第63回通常総代会

2020年6月26日（金）
（一財）福井県教育センター

福井
県庁生協

環境変化に対応し、職域生協の特性を活かせる組織づくりをめざして!

県庁生協第63回通常総代会は、6月26日（金）午後2時から、福井県教育センターに於いて、本人出席4名、委任状8名、書面議決67名、合計79名（総代総数120名）の出席を受け開催されました。



今回の総会はコロナウイルス感染防止の観点から、書面でも議案の賛否に参加できることを周知徹底したところ、多くの総代さんにご理解をいただき、来賓あいさつなどの時間を省きながら、短時間で開催することができました。全国の職域生協では消費の冷え込みに加えコンビニ等との競争激化により、供給事業の減少に歯止めがきかず、多くの生協が大変な苦戦を強いられています。福井県庁生協の収益状況は、一昨年に開催された福井国体に関する特需商品等の手当が不完全で、売店供給は昨年度を大きく下回る結果となりました。事業経費では専従職員の若返りもあり人件費は減少しました。一方、パソコン入替や軽減税対応レジの導入等、物件費が高む結果となりましたが、事業の抜本的な見直しを図るため、商品のロス削減や非効率な事業の見直し等が奏功し、7期連続の黒字決算を迎えることになりました。新年度は、4月期の本庁売店の状況から、母体である福井県のイベントや会議が全く実施されない厳しいスタートになっています。また、テレワーク等の導入により売店への来店者は大幅に減少しており、職域生協の弱点が顕在化されようとしています。そのような厳しい状況ではありますが、取り巻く環境の変化に対応しながら、商品、サービスの両面から職域生協の特性を活かせる組織づくりに努め、福利厚生事業の充実をめざします。

第50回通常総会

2020年2月11日（火）
菅浜農業構造改善センター

菅浜
生協

組合員の利用なくして生協の存続なし 全ての議案が可決承認

去る、2月11日（火）菅浜農改センターに於いて第50回通常総会を開催いたしました。当日は沢山の組合員の皆様にご出席頂き、山本議長の進行のもと、全ての議案が原案通り可決承認されました。



令和元年度は夏場の天候不順による店内販売と駐車場収益の減少があったものの、取引会社の特需と学校給食の食材供給増加などにより、供給高は102,790千円と昨年度を4,531千円上回り、年度見通しとして1,107千円の当期剰余金を計上致しました。これ偏に組合員の皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。令和2年度の供給目標を1億円としておりますが、組合員の供給がここ数年2割程度減少

しており厳しい目標となっております。当生協が安定経営を継続して行くには、やはり組合員の皆様にご利用頂くことが一番重要でありますので、今後とも組合員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第42回 通常総代会

2020年6月18日（木）
県民生協本部センター

福井
県民生協

感謝と挑戦で共に未来を創る

第42回通常総代会が開催され、すべての議案が賛成多数で可決承認されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小しての開催となりました。

竹生理事長の開催の挨拶では、新型コロナウイルスの感染症拡大に際して、組合員と職員の安全確保を第一に事業継続に取り組んできたこと、2019年度はハーツつるがのリニューアル、岡保きらめきの増床、金津きらめきの開設準備、社会福祉法人「きらめき福祉会」の設立など新たな挑戦が進み、事業高が過去最高となったことを報告しました。

2020年度の3つの基本課題

- 「食と福祉と助け合い」の事業ネットワークにより、地域と組合員から頼りにされる生協をめざします。
- SDGs達成のための取り組みを推進し、持続可能な社会の実現をめざします。
- 2030年を見据えて、第10次中期計画を策定します。

県民せいきょう通常総代会



福井県労済生協の総代会は、7月28日に開催されました。次号に掲載します。

第66回通常総代会

2020年6月25日（木）
学生支援センター1階
Cafeteria味菜ホール

福井大学
生協

第66回通常総代会を開催しました

第66回通常総代会が新型コロナウイルスの影響により、1カ月遅れの6月25日（木）に開催されました。Webサイト、SNS、店頭告知、学生組織などを通じて、総代立候補をお願いしましたが、総代の役割を十分に周知する機会の無かった新入生からの選出は難しいと判断し、基本的には昨年総代になってもらった上回生を中心に立候補いただきました。当日は3密を防ぐ観点で、出来る限り書面議決での参加をお願いし、総代選出数64名の内、実出席1名、書面議決60名の出席を得ました。

すべての議案が賛成多数で可決承認され、役員立候補者も全員が信任投票で当選・就任されました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で、大学が遠隔授業となり学生組合員が大学に戻らない苦しい状況の中で、すでに4月末の時点での試算では対予算で▲3億円、経常剰余▲7,000万円と大変厳しい数値予想が出ております。そのため、国や県の助成制度を活用すると共に、財務状況の安定化を図りながら少しでも経営危機を回避できる方策に取り組んでまいります。



福井県
労済生協

2020年度 第1回地区推進委員会を開催しました

I. 地区推進委員会において2020年度推進活動の最重点課題を討議

2019年6月に県下6地区で推進委員会（書面開催）を開催し、2020年度推進活動の最重点課題などについて討議をおこないました。

2020年度 推進活動の最重点課題

- ①組合員への「お役立ち」発想と「共創」活動による推進活動の実践と定着をはかります。
- ②組合員・生活者の共済利用と契約維持・拡大に向けた推進活動の強化をはかります。
- ③推進体制の強化と共済の利用（深さ・長さ・広さ）促進による2020年度事業目標の達成を目指します。
- ④「活動量の平準化と引き上げ」「業務の見直し」のために、「新しい業務様式」の取り組みと推進体制の再構築をはかります。

II. 2019年度に発生した大規模災害への対応状況

2019年度においても前年度に引き続き、全国で大雨や台風など大きな自然災害が発生しました。

全国での対応状況は以下のおおです。

■被災受付件数：70,599件 ■お支払い共済金額：約292億5,000万円

ダイジェスト